

知っていますか?
札幌の冬のこと。

雪学習 NEWS

札幌市内
小学校
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的にをお届けします。

No.08

冬に備える

雪国ならではの冬への備えが札幌にはあります。冬の到来を前に、子どもたちの身近にある冬への備えに目を向けさせてみてはどうでしょうか。

今回、本誌では除雪車・暖房器具・車道歩道用砂袋を取り上げました。子どもたちにとって視界には入っていないけれど、それぞれの工夫やアイデアまでは知らなかったり、見過ごしたりしていることがあるでしょう。本誌の記事を参考に、他にも雪国札幌らしい冬への備えがないかを探してみませんか。

除雪車両

え!除雪車両の組立ラインが札幌に?!

除雪車両にはいくつもの種類がありますが、中でも排雪の時に大活躍するのが「ロータリ除雪車」です。「オーガ」と呼ばれる鋼鉄製のスクルーでかたい雪をかき崩して、「シュート」と呼ばれる筒から雪を吹き飛ばす「ロータリ除雪車」はなんと全国の7割が、ここ札幌で製造されているんです!当然、自動車工場と同じように、「組立ライン」も存在します。そこで、今回は「日本除雪機製作所」の「稲穂工場」にお邪魔しました!



① ミッション、シャーシの組み立て

溶接工場できられたフレームをここで組み上げミッションやタイヤを取り付けます。



② エンジンに乗せボンネットを組み立て

ディーゼルエンジンを乗せボンネットを組み立てます。



③ キャビン、電装、油圧配管の組み立て

油圧ホースや電気配線を行います。運転室には多くのレバーやスイッチがあります。



④ 燃料、オイルを充填しエンジンを始動

エンジンを始動させ、油圧ホースなどに漏れがないかを点検します。



⑤ オーガやシュートを装着

雪を削る大きなオーガや、雪を飛ばすシュートを取り付けます。



⑥ ピット内、テストコースでの検査

組み立て完成後、検査員が細かい傷がないか検査し、その後、工場を出て検査をします。



中村哲也さん

土田哲さん

佐々木知穂さん

上記のようなラインでの工程を経て、検査を行い、塗装を行います。札幌市の除雪車両は「スカイブルー」の色が塗られます。一つの工程で1日、1週間で組み立てられるようになっています。したがって、1日に1台のペースで製造されていきます。稲穂工場できられたロータリ除雪車は北海道をはじめ、東北、北陸、山陰地方で冬の間、大活躍しているんですね。また、同じ手稲区にある曙工場では、線路で活躍する「軌道モーターカー」やスキー場で活躍する「グレンデ整備車」などの特殊車両もつくられています。そして、現在は「ハイブリット車」や「自動運転」の開発も進めているんだそうです!!本当にすごい工場でした!!

協力:株式会社日本除雪機製作所

冬の準備

8月から売り出しが始まるストーブやこたつ

札幌でも初雪が観測され、いよいよ本格的な冬が近づいてきました。ストーブやこたつなど、暖房を使う機会がどんどん増えているのではないのでしょうか。さて、そのストーブやこたつですが、札幌市内ではいつごろから売り出しが始まっているか、ご存じですか?雪が降るころ?それとも秋になったころ?いえいえ違います。

市内のショッピングセンターでは、お盆を過ぎたころの8月末ごろからストーブやこたつ売り場の特設コーナーができ、販売が始まります。まだ残暑が厳しく、暑い日が続いている中でストーブやこたつが売られているなんて不思議な光景ですね。気温が下がり、冬の買い換え需要が高まると暖房の特設売り場を作って売り出します。家庭で使われるストーブは9月中に最も売れているようで、冬の備えとして、寒くなる前に購入される家庭が多いですね。

たくさんの雪が降り、寒さが厳しい北国「札幌」は、冬の備えを夏のうちからしているのです。



協力:イオン札幌寒寒店



なるほど!札幌の冬

～朝の会で使える小ネタ～
実物投影機で大きく映そう!!



働く車クイズ

問1 この車は、
どんな時に
使うかな?



問2 札幌市が除雪する道路は、何kmくらい
あると思う?

問3 札幌市内の車道と歩道を、一
晩で一斉に除雪すると、除雪車
は何台くらい必要だと思う?

問4 この車の値
段は一台いく
らだと思う?

【答え】問1: 道路の雪を、除雪する時に使います(名称: 除雪トローラ)。問2: 約5,400kmです。札幌から沖繩県の石垣島を往復する距離に相当します。歩道も約3,000km除雪します。問3: 約1,000台。作業する人は、約3,000人必要で、費用は約1億2,000万円もかかります。問4: 約1,800万円です。

Q&A

Q. 砂袋には2種類あるってほんとですか?

A. 砂袋には、歩道用と車道用の2種類があります。札幌市では、11月中旬～3月末の間、つるつる路面での転倒事故防止に役立つ“砂袋”が入った砂箱を設置しています。歩道用は歩道側、車道用は車道側に取り出し口があるのですぐにわかります。車道用は、3kg入り砂袋が入っていて、量が多く、広い面積に撒くのに適しています。歩道用には1.5kg入りの砂袋が入っています。1.5kgタイプは、市民の声(高齢者や子どもでも手軽に使える重さ・袋を開けやすく・撒きやすさ)をヒントに開発されたものです。袋の片側が鋭角になっていて、切りやすく撒きやすくなっています。この砂袋は、滑って危ないと思ったら、誰でもまいて構いません。横断歩道の白線部分、ロードヒーティングの切れ目、地下鉄駅や地下街の出入口付近、車の出入りのある歩道、バスやタクシーの乗降場所がつるつる路面になりやすい場所です。積極的に砂まきへのご協力をお願いいたします。



歩道用1.5kg
の砂袋



車道用3kgの砂袋

授業をサポートする
資料は、ここ!



このニューズレターや冬や雪に関する指導案等は
札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

札幌雪学習

検索

雪に関する写真や動画等、
いろいろあります!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX:011-218-5141